

第3回阿南市魅力ある都市づくり審議会 会議録(要旨)

■開催概要

開催日時:令和5年5月26日(金) 10:00~12:00

場 所:阿南市役所 3階 303会議室

・出席者

委 員 7名(委員数9名)

オブザーバー 1名

事務局 11名(市8名、昭和株式会社2名、三井共同建設コンサルタント株式会社1名)

1. 開 会

開会挨拶(阿南市長)

2. 検討事項

- (1) 第2回審議会の振り返りと市民アンケートの結果及びまちづくりワークショップ等の開催報告について
第2回審議会の意見概要、市民アンケート調査及びまちづくりワークショップ等、各種調査結果の概要について事務局より説明を行った。
- (2) 阿南駅周辺エリアへの図書館機能の整備箇所の考え方について
市民アンケート調査及びまちづくりワークショップの結果等を踏まえた新図書館の整備箇所選定の考え方について事務局より説明を行った。
- (3) 阿南駅周辺エリアへの図書館機能を始めとする導入機能(素案)について
市民アンケート調査及びまちづくりワークショップの結果を踏まえた新図書館へ導入する複合機能及び駅周辺地区における公共用地等への導入機能(素案)について事務局より説明を行った。
阿南市立新図書館基本計画(素案)における新図書館の複合機能の考え方についての説明を事務局より行った。
- (4) 今後のスケジュールについて
令和5年9月の計画策定に向けた今後のスケジュールについて事務局より説明を行った。
- (5) 意見交換

[委員]

- ・ まちづくりワークショップでは、学生、子育て世代、高齢者など参加者の皆さん一人一人が阿南のこれからと居心地の良い暮らしについて自分ごととして考えていた。

[委員]

- ・ 東西のアクセスのしやすさやウォーカブルな話が出てくる割には、駐車場へのアクセスの良さや駐車場を広くとるといった話であるが、人を歩かせたいと思うのであれば、むしろ駐車場からちょっと離れた所が基本であって、その間を緑地でつないで歩いてもらうべきではないか。

[事務局]

- ・ 新図書館の駐車場の規模や配置箇所の検討は今回はできない。市民は面積が広い所、車でのアクセスのしやすさを重視されており、そこを考えると新図書館の整備箇所は市民会館解体跡地になると考えている。ご指摘いただいたように、駐車場を固めてしまうと波及効果が無くなるため、今後検討をする。

[委員]

- ・ 車いすの方や歩くのが大変な方もいらっしゃるので、ある程度は近くに必要だが、そこで完結してしまうとよくないので、駐車場の位置も今後検討していただきたい。

[委員]

- ・ 皆さんの暮らしのパターンとして、車で直付けして用事を済ませてすぐ帰るという現状が実際にはあるため、現状のニーズを満たしつつ、プラスウォーカブルなまちづくりを目指していく、両方の視点での計画を作ればよい。

[委員]

- ・ 市全域から来ていただくことを考えると駐車場の話は避けては通れない。アクセシビリティが大切で、まずは車で来ていただいて、その後、歩いて面的につながることを考えることが大切。そのためには、車の止め方と歩車分離が完全にできているような安心して歩ける歩行者空間をどうやって作るのかが大切なことだと思っている。また、市民会館跡地以外の候補地も含めて3カ所で何かをすることによって、この面で皆さんが来ることを考えた方がいい。

[委員]

- ・ 図書館がこの地域を訪れるきっかけになる施設であるべきだと考えており、いかに図書館が使いやすく、魅力的なものになっていくかという方向性を考えていくべき。
- ・ 東西の行き来のしやすさという視点では、道路が駅の南と川沿いの2カ所しかなく、阿南図書館用地の評価が高くなると思うが、なぜ市民会館解体跡地が評価として高くなるのか。

[事務局]

- ・ 車での移動を考えると阿南図書館用地が東西の行き来はしやすいが、歩いて東西の行き来をする視点からは市民会館解体跡地や商工業振興センター前用地の方が東西の行き来はしやすい。
ただし、市民会館解体跡地は、当然西側に渡るための跨線橋やペDESTリアンデッキのような機能が必要になってくる。

[オブザーバー]

- ・ アンケートの結果から車での移動が多くあったのは、今のまちがウォークアブルなまちでないがために歩く発想が湧いてこないのではないか。東西の流動を促進するための大きなテラス状の跨線橋みたいなものがあれば非常にいい。また、図書館だけでなく、面的に2カ所、3カ所で工夫することでまちのにぎわいづくりが進むのではないか。

[会長]

- ・ 歩いてまちを活性化させるという視点では、市民会館跡地に図書館を整備し、スロープ状の高架を付けることによって、市役所前の大きな駐車場も活用できるのではないか。

[委員]

- ・ 充実した導入機能ではあるが、一般的で、既存の阿南の魅力との繋がりが欠けていると感じた。阿南の東の端(那賀川町)には、四国で一番立派な天文施設がある科学センターがあり、西の端(加茂谷地域)には国の指定を受けた辰砂採掘遺跡がある。このような東西の研究拠点を中央の図書館に設けて研究のアクセスをしやすくする。それが阿南らしさと思う。既存の阿南の魅力との繋がり、接点を設けておかないと、このたくさんある導入機能は動かない。

[委員]

- ・ 前計画(まちづくりビジョン)にあった公民連携のマンションがこの計画の中に入らないのはどうしてか。

[事務局]

- ・ まちづくりビジョンには、集合住宅をコア機能として位置付けていたが、市民の意見として、公共用地を特定の方だけが利用する空間として活用するのではなく、いろんな方が利用できるような空間として使うべきではないかなどといった意見もあり、今回、公共用地への機能としては外している。
駅周辺の魅力を高めることで、駅近くで住みたいというニーズは高まることから、公共用地に限定せず、民間用地も含めて検討していくべきだと考えている。

[委員]

- ・ 阿南のことを一番知っている人たちが阿南の良さを生かすという発想で考えていくことはすごく重要な視点だと思う。阿南市が50年後、100年後どうなっているのか、どうすべきなのかという観点で議論すべき。

- ・ フランスでは、人が歩きやすいまちを徹底してつくるということでまちの再生を果たした。日本でも富山市で公共交通機関を使って車をできるだけ抑制していくという方向で動いている。ぜひ、阿南市もその方向で考えた方がよい。

[委員]

- ・ 市内には中学校が9校もある。それだけ地域が広がっているということであり、地域特性は踏まえないといけない。また、図書館との複合機能を考えた場合、様々な機能をどうやって一つの施設に入れるかが大切で、休日が違うと中に入っている機能が使えなくなるといった問題がある。カフェの人気は高いが、なかなか儲からないので、何回か行けば違う店に代わっているケースも少なくない。カフェが欲しいというのは良くわかるが、継続性は大切だと思う。図書館と複合機能がどのように関わっていくかということを今後詰めていく必要がある。

[委員]

- ・ 市民会館跡地での図書館整備と、駐車場を広くとることはいいと思う。
- ・ 県産の木材を使用する等、建物自体に阿南らしきがあるといい。

[委員]

- ・ 高松市の丸亀町で、再開発でマンションを整備して商店街活性化につながった事例があるように、まちの活性化には住まいを箱として準備するというのは非常に重要だと思う。中心市街地に人が戻ってくるとで周りの商店も活性化されるという事例は確かにあり、ここでもそういった方向性を引き続き持つ方がよい。
- ・ 官民連携によるエリアマネジメントなど、ソフト的な取組に対しては、「官民連携まちなか再生事業」を活用して、今後検討を進めてほしい。

[オブザーバー]

- ・ 地区内の各所を繋ぐネットワークづくりとして、緑道、フットパスが位置付けられているが、単につなぐ機能としてではなく、それ自体に人が集まって賑わうようにしないといけない。ランドマークである市役所庁舎、新図書館、阿南駅、この3つを繋ぐメインロードがあればよい。
- ・ 観光バスで乗り付けて施設を見たらいなくなるといった、まちへの貢献が問題となっている。今回の図書館整備も建物を新しくするだけでは何も変わらない。阿南らしきを一つ入れていただきたい。

[会長]

- ・ 図書館が駅周辺の活性化のための一つの核であってほしい。
- ・ 商工業振興センター前の用地には、飲食店等を起業したい若者がチャレンジできるような施設がほしい。

[委員]

- ・ ウォーカブルなまちづくりには緑地も水辺も必要であるが大事なはその質。生物多様性に関しては、

四国の市町村レベルでは阿南市が唯一戦略を持っている。単なる観賞用としてではなく、しっかり質のいいものを作っていく必要があると考えている。

- ・ 国は、陸地も海も30パーセント保全エリアにしようとするサーティ・バイ・サーティという戦略を持っているが、人が手つかずの自然を守るというのではなく、官民の緑地空間をそういった保全エリアにしていこうとしている。環境のまち、産業のまち阿南市をこの整備計画の中で強化していくことができればと思う。

[委員]

- ・ 阿南市は山で各地区が分断され、小中学校がどうしても多くなる。今、市街地の議論をしているが、図書館は特に市街地の人たちだけでなく、その後ろに控えている人たちが、どのようにアクセスして、その人たちからいかに賛同してもらえるかということを考慮してほしい。

3. 閉 会

閉会挨拶(阿南市長)